

# 人々の憩いの場、交流の場としての「たまり」空間を有する道路の利用事例①

【社会実験:コミュニティインフラ化in博多(福岡市須崎問屋街)】(平成15年9月26日～10月5日)

道沿いの商店街と通りが一体となって賑わいをつくり出せるように、ベンチやプランター等を設置することで、人々の憩いの場としての「たまり」空間を創出した事例



一方通行通りでのベンチやプランターの設置(須崎問屋街)(出典:国土交通省HP)

※ベンチ等の設置については、実施主体であるNPOが道路管理者から道路占用許可を受けて実施

# 人々の憩いの場、交流の場としての「たまり」空間を有する道路の利用事例②

## 【六本木ヒルズ】

沿道の商店街と道路(歩道空間)とが一体となって、人々の憩いの場としてのたまり空間を創出した事例



六本木ヒルズ

(写真提供:(財)道路新産業開発機構)

# 地域振興等の活動の場としての利用事例①

## 【朝市(石川県輪島市)】

道路上に多数の露店を設置し「朝市」を開催することにより、観光客を誘致するなど地域振興の活動の場として道路を利用した事例



※露店の設置にあたっては、各商店主が輪島市朝市組合を經由して道路使用及び道路占用の許可を受けた上でやっている。

(出典:輪島市HP)

## 地域振興等の活動の場としての利用事例②

### 【道路上のオープンカフェ(横浜市日本大通り他)】

中心市街地におけるメインストリートにオープンカフェを設置し、まちの魅力を高めるとともに、まちの賑わいを創出することで地域の活性化を図った事例



《横浜市日本大通り》



《大阪市御堂筋》

## 地域振興等の活動の場としての利用事例③

【郡山にぎわい・夢カフェ2005】(福島県郡山市・平成17年7月30日～11月6日の土日祝日の30日間)

中心市街地の道路にオープンカフェを設置し、まちの魅力を高めるとともに、イベント等を実施することで賑わいを創出した事例



オープンカフェ設置後のなかまち夢通り



中央商店街「花市」

(出典：郡山にぎわい・夢カフェ2005写真集)

## 地域振興等の活動の場としての利用事例④

【花いっぱいキャンペーン】(長崎市内国道34号・平成15年12月15日、ルート34ワークショップ実行委)

児童、学生、地域住民等が参加し、国道34号(長崎県庁から長崎市役所まで)の歩道の両サイドにクリスマスの花、ポインセチアを飾るイベントを開催することで、地域振興等の活動の場として道路を利用した事例



(出典:「ルート34ワークショップ」提言書)

# 地域振興等の活動の場としての利用事例⑤

## 【道の駅「宇土マリーナ」(熊本県宇土市)】

地域の創意工夫により、多様で質の高いサービスを提供する施設である「道の駅」を地域振興等の場として利活用している事例

### 【道の駅「宇土マリーナ」概要】

付帯施設：物産館(特産品販売)、レストラン

路線名：国道57号

提供情報：観光情報、医療情報、気象情報他

その他施設等：海の駅「宇土マリーナ」(クルージング体験施設)、日本渚百選「御奥来(おこしき)海岸」に隣接



(出典：国土交通省HP)